

ホテル・観光労連シニアネットの皆さんへ ★特に関東地区の皆さんへ



9月18日(月・祝)に、気候変動や脱原発など、社会問題に取り組む団体の協働による、「ワタシのミライ」集会&パレードが開催されます。

シニアネットでは、プログラム後半の集会への参加を予定しています。残暑が予想されますので、無理のないようご検討いただき、体調と相談の上ご参加ください。

集合場所と集合時間は次のとおりです。

★集合場所:代々木公園B地区・野外音楽堂の手前、時計塔の付近

★集合時間:13時30分

★当日の連絡先:高橋均 090-2547-6744

片岡千鶴子 090-5542-9120

なお、集会終了後、参加者懇親会を予定しています。(懇親会会場のご案内は当日いたします)

★参加される方は①集会②参加者懇親会それぞれについて、9月11日(月)までに片岡のメールアドレス (chizk_hanasuki@j05.itscom.net) へ、ご返信ください。

シニアネット集会担当:片岡

「ワタシのミライ」は、2020～2021年度のエネルギー基本計画の改定に対し、255の賛同団体から27万筆を超える署名を政府に提出した「あと4年、未来を守るのは今」プロジェクトを引き継ぎ、様々な社会問題の解決に取り組む団体を包含することを目指すプロジェクトです。

***** 「ワタシのミライ」プレスリリースから *****

社会問題に取り組む様々な団体や若者が横断的に協力した、国内最大規模のアクションを目指します。

誰かの生まれ育った家が流されたり、その土地で暮らせなくなったり、大切な命が失われている。そんなニュースを見るたびに、私たちの感覚は麻痺しそうになります。気候変動やエネルギー問題がもたらす社会のひずみを前に、私たちは自分の無力さに現実逃避したくもなります。

それでも、私たちは求めます。命が守られる未来を。

よりよい社会を求め、連帯することで私たちは「ワタシのミライ」をつくります。

【日本や世界各地で命に関わる危険な暑さと災害】

日本列島各地が連日猛暑と気象災害に見舞われ、7月だけで九州各地、名古屋、秋田で記録的大雨やゲリラ豪雨で500軒以上の浸水被害や多くの人命が失われている。

また世界では7月第1週は観測史上最も高い世界平均気温を記録。

スペインで最高気温が44度になり、一部地域で屋外作業が禁止。

メキシコでは49度を記録し、熱中症などで104人が死亡。

今後、気候変動に関連して2100年までに途上国を中心に累計4000万人が死亡する恐れがあるとの予測が国連開発計画から報告されており、これは私たちの生活と命をどう守るかの問題です。

【私たちは求める】

“ワタシのミライ”は、再エネ100%と公正な社会をめざすプロジェクトとして2023年に発足した、学生や市民による運動です。2021年のエネルギー基本計画の改定の際に、様々な社会問題に取り組む団体が連帯して政府に27万筆を超える署名を提出した

「あと4年、未来を守れるのは今」キャンペーンを引き継いだものです。

私たちは、気候変動対策の強化と、若者や女性など様々な異なる意見をオープンに反映する民主的なプロセスで計画を決定することを求めます。

【私たちは社会の連帯をつくる】

気候危機を解決するためには政府の政策の役割が大きく、パリ協定に整合するものにするためには、市民が政府に対して声を上げることが必要です。

市民や若者が結集し政策に影響を与える大きな運動をつくっていかねばなりません。

“ワタシのミライ”は、エネルギー問題だけでなく、貧困や格差、難民移民やLGBTQなどあらゆる差別や人権問題など様々な社会課題に取り組む人たちと連携・連帯をしていきます。

【私たちは“ワタシのミライ”をつくる】

「再エネ100%と公正な社会をめざす」という共通のテーマを掲げることで、市民や若者の大きな運動を作ります。

プロジェクト名には「もう地球を人まかせにしない。自分たち自身で“ワタシのミライ”を創っていく」

という想いが込められています。気候変動と様々な社会問題に共通する

民主的な政策決定プロセスを求める声を政府や社会に届けるだけでなく、

公正な社会を構築するための仕組みづくりや社会システムの変革にトライしていきます。

【社会問題を横断した国内最大規模のアクション】

この度、国連気候アクション・ウィークに呼応して、9月18日に全国で数万人規模のアクションを目指します。

東京では、気候危機の解決を求める若者の団体「Fridays For Future Tokyo (FFF Tokyo)」や、脱原発と持続可能で平和な社会を求める市民運動「さようなら原発1000万人アクション(さようなら原発)」と協働して大規模なアクションを実施し、これまで声を上げてきた様々な団体と若い世代とで新たな企画として作り上げます。

【3団体で協働アクションをする理由】

気候変動運動や脱原発運動、差別や人権問題は、共通する課題も多くありながら、年齢層も関心層も異なっています。

現状では、それぞれの運動が単独で大きな変革を起こすことが難しい状況です。

これまでも連携を模索し、一部協働してはいますが、今こそもっと大きな連帯が必要な時だと判断しました。

そこで、9月18日の代々木公園での集会を、これからの大きな連携の一步として取り組むこととしました。

真に公正な、弱者へのしわ寄せの少ない社会をつくるために、化石燃料や原子力からの脱却はもちろん、

さらに踏み込んで社会構造そのものの変革を求めます。

そのために、気候変動・エネルギー問題にとどまらず、幅広い市民社会とつながります。

このイベントを、そういった新しい動きの一步として開催できればと企画しています。